

# 『野川河床整備工事（北その4）』

## 工事説明会

日時：令和4年11月8日 午後7:00～8:30

場所：調布市金子地域福祉センター 大集会室

### 次 第

1. 開 会 （午後 7:00）
2. あいさつ
3. 職員紹介
4. 工事説明
- 休 憩 （換気:10分程度）
5. 質疑応答
6. 閉 会 （午後 8:30）

東京都北多摩南部建設事務所  
株式会社 瀧澤建設

# 野川河床整備工事（北その4）

## 工事説明

発注者：東京都北多摩南部建設事務所

受注者：株式会社 瀧澤建設

1

## 次 第

1. 野川の事業概要について
2. 工事概要について
3. 工事内容について

2

# 1. 野川の事業概要について

## 1-1(1) 野川の整備状況



# 1-(2) 野川流域河川整備計画

## 野川流域河川整備計画（平成29年7月変更認可）

- 計画期間は約30年
- 野川、仙川、入間川の3河川が対象

### 【主な整備事項】

#### ■第4章 河川の整備の実施に関する事項

#### <洪水対策>

- 河川への流出を抑制する流域対策と組み合わせ、**年超過確率1/20で1時間あたり65mm規模の降雨に対応**
- 1時間あたり50mm規模の降雨に対応できる河道に加え、**洪水を貯める調節池等を整備**
- 現況流下能力を確認して、計画洪水に対して能力が不足している箇所は、**河川環境に配慮して河床掘削**

#### <河川環境>

- **親水空間の創出**、生態系の連続性の確保、低水路・高水敷の整備及び保全、**瀬や淵の形成**など
- 瀬切れ対策として**不透水層の設置**

◎河川整備計画の本文は「東京都建設局HP」で公表しています。

<http://www.kensetsu.metro.tokyo.jp/jigyoku/river/jigyoku/kasenseibikeikaku/index.html>

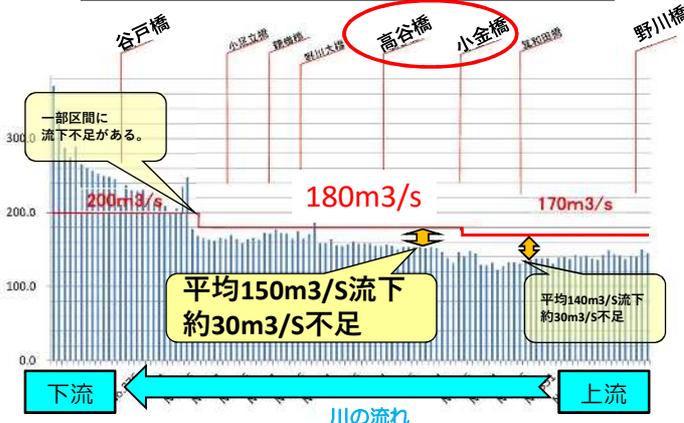
### ○目標整備水準65mm(多摩部)の役割分担



# 1-(3) 野川河床の現状（治水面1）

- 時間50mm降雨に対応する護岸は整備済です。
- 現状では、概ね時間50mm降雨に対する流下能力が不足しています。

事業開始前の流下能力図（区市境～野川橋間）



**安全な流下能力の確保は必須**

平成28年8月22日 台風9号  
野川流域平均 時間最大雨量38 (mm/hr) 総雨量138mm

〈参考〉雨量計計測値

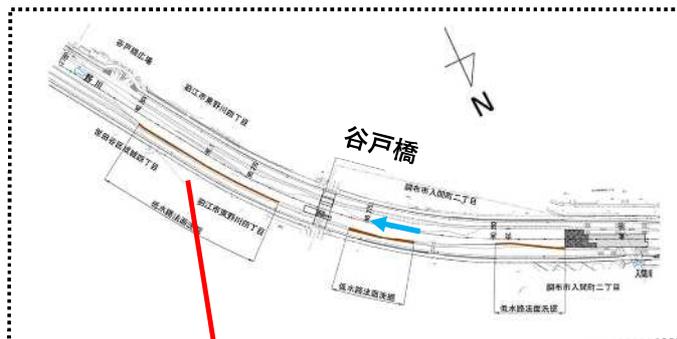
・入間川分水路：時間最大雨量40(mm/hr) 総雨量137mm



撮影日：平成28年8月22日 台風9号

# 1-(4) 野川河床の現状 (治水面2)

○経年の洪水の影響で、野川の曲線部外側において洗掘が進行しています。



# 1-(5) 野川河床の現状 (環境面)

○野川では、たびたび「瀬切れ」の現象が生じており、生態系の連続性が損なわれています。

※ 瀬切れ : 平常時において河川の水量がなくなる現象



○水際に降りられる階段施設の整備により、河川内を散策や各種イベントで利用されています。



## 2. 工事概要について

9

### 2-1(1) 工事概要

工事件名 野川河床整備工事（北その4）

工事場所 東京都調布市西つつじヶ丘四丁目地内 野川

工事期間 令和4年11月～令和5年5月（予定）

施工時間 8：00～17：00（予定）

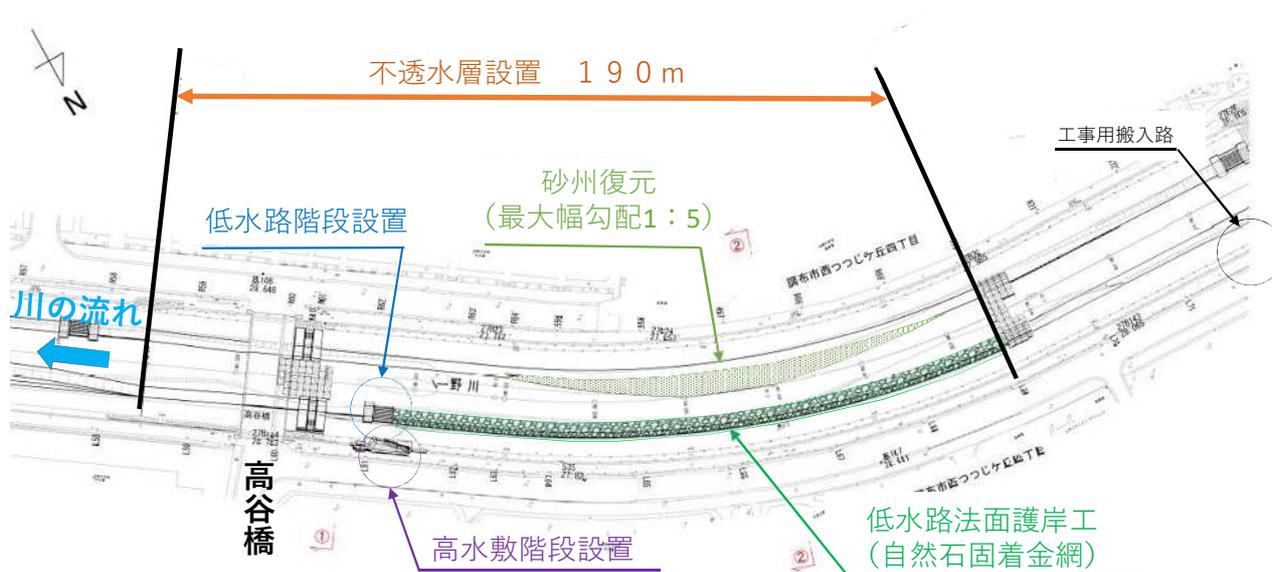
注)土曜日・日曜日は原則、工事を行いません。

工事概要	土工事（河床掘削）	1式
	不透水層設置工	1式
	低水路法面護岸工	1式
	低水路・高水敷階段工	1式

10

## 2-(2) 工事概要

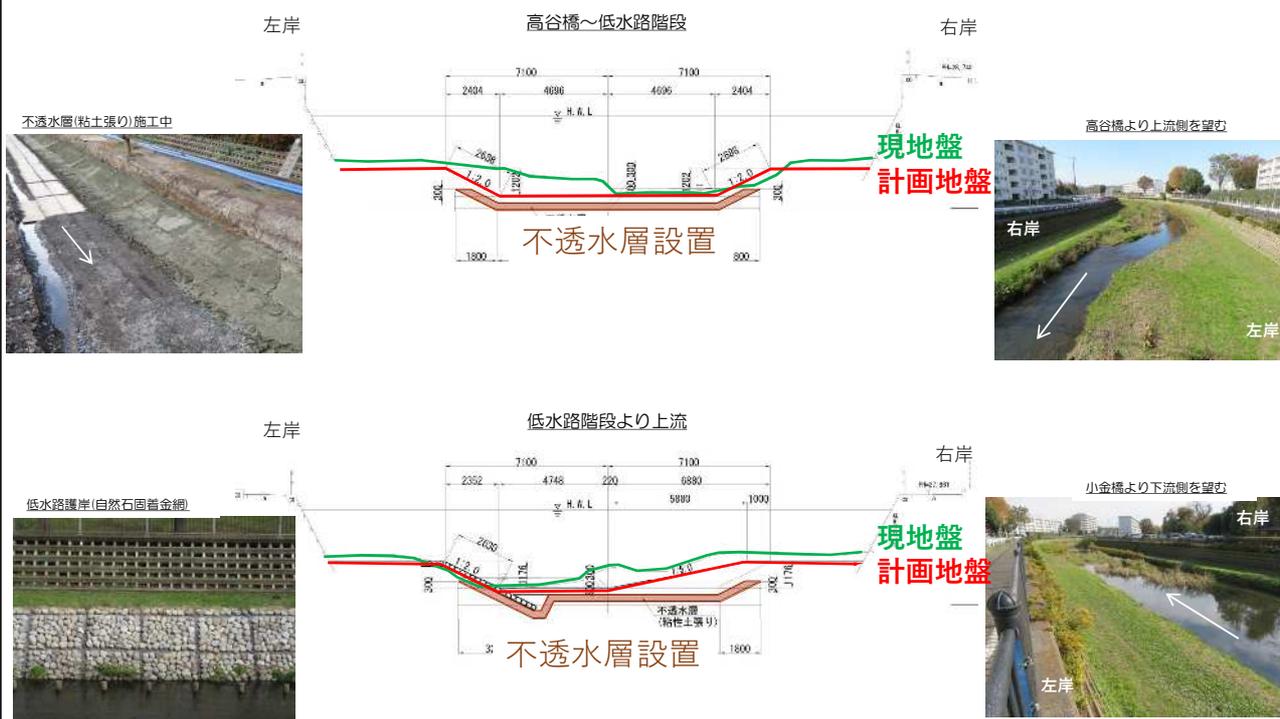
全体平面図  
(高谷橋下流～小金橋下流区間)



11

## 2-(3) 工事概要

整備断面図  
計画流量=18.0m<sup>3</sup>/s 高谷橋下流～小金橋下流区間

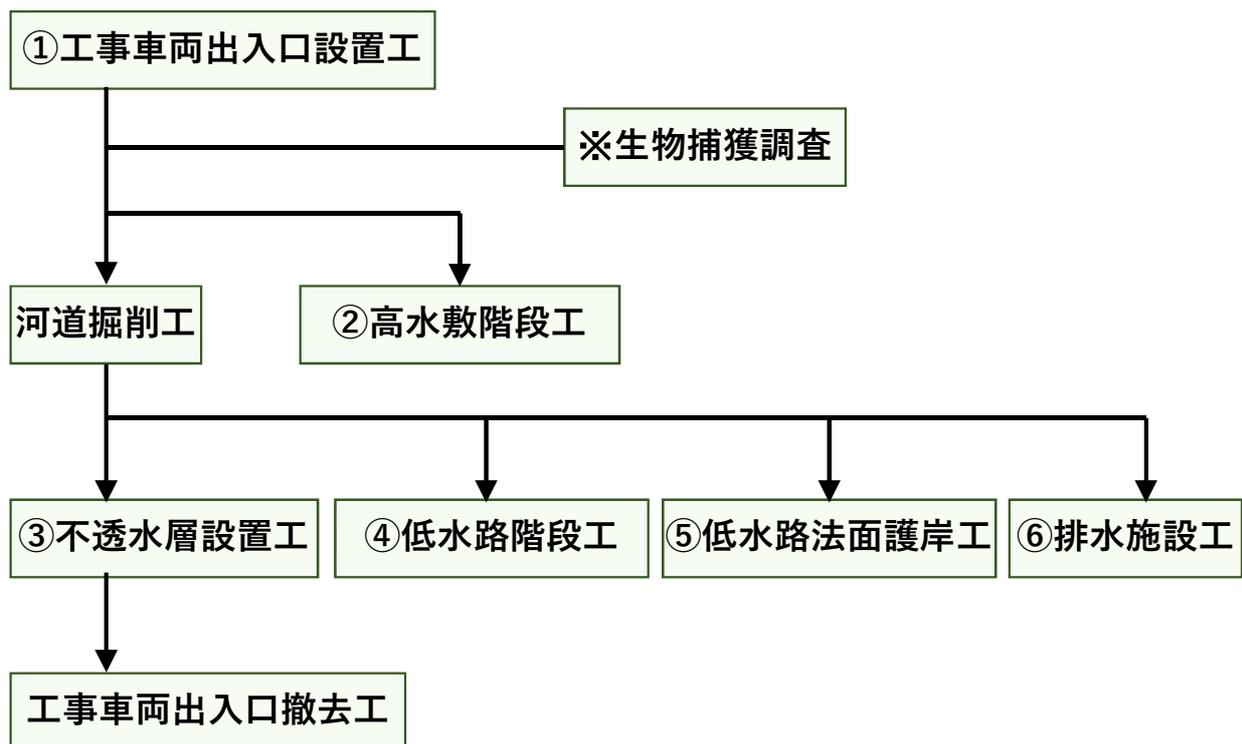


12

### 3. 工事内容について

- 3-(1) 工事手順
- 3-(2) 安全対策
- 3-(3) 高水敷・階段の通行止め
- 3-(4) 使用機械
- 3-(5) 環境調査

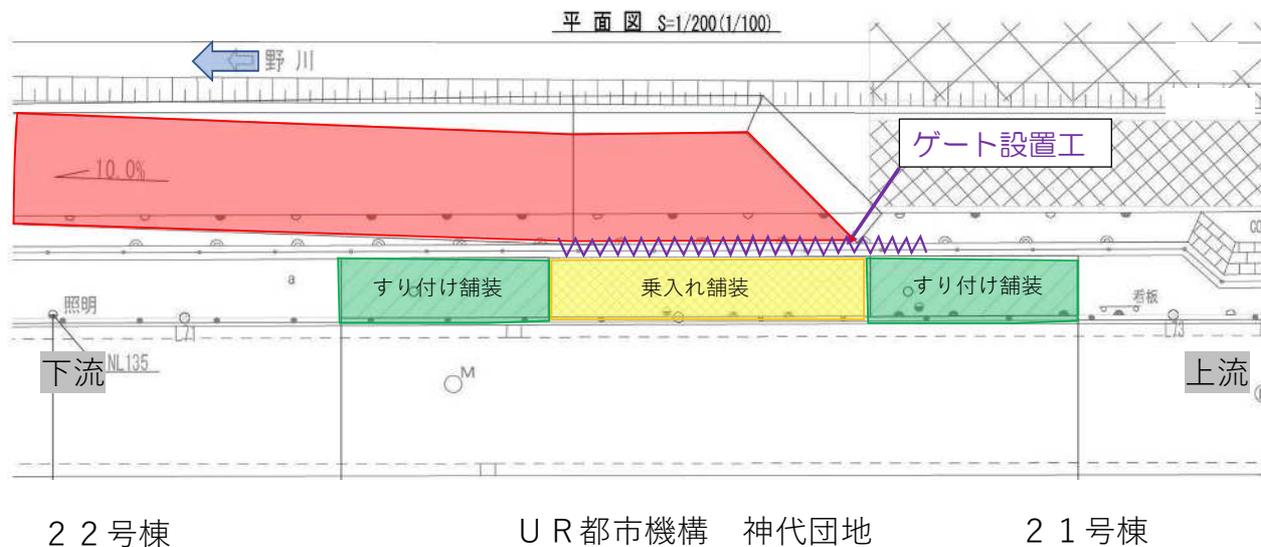
#### 3-(1) 工事手順



# ① 工事車両出入口設置工

至  
高谷橋

至  
小金橋

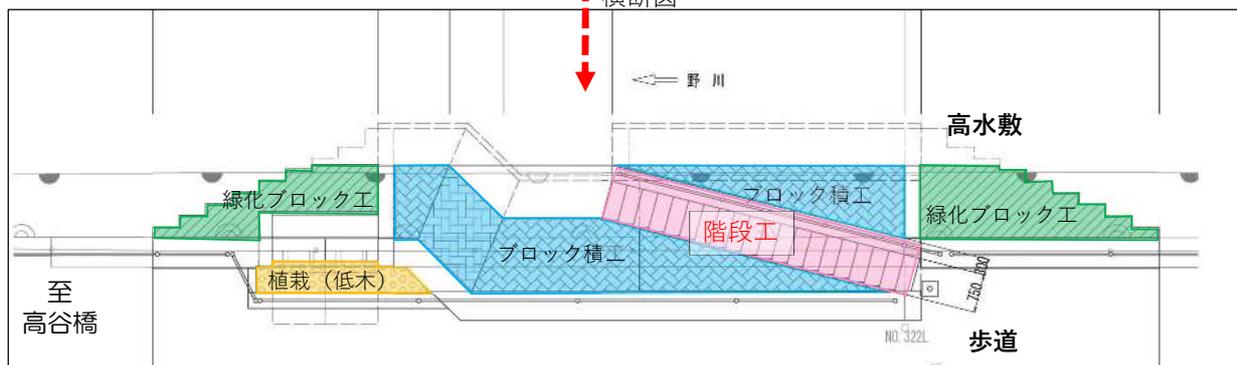


- ・工事車両出入口を設置するため、車道用の舗装に替え、出入口にゲートを設置いたします。

# ② 高水敷階段設置工（新設）

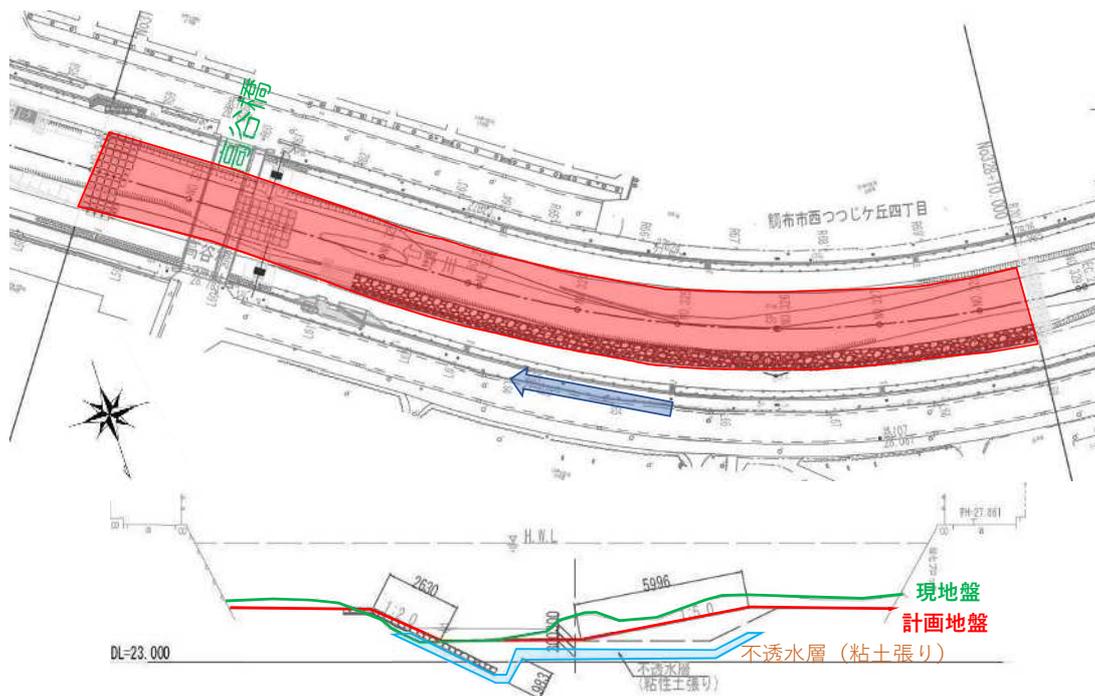


参考写真



- ・歩道から高水敷に昇降する階段を設置します。

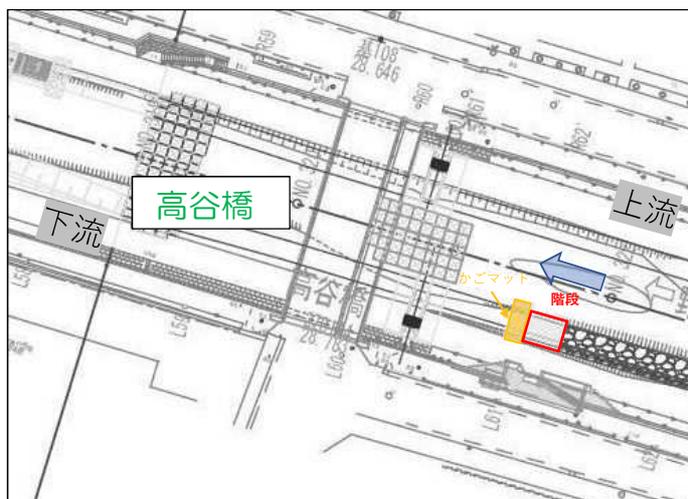
### ③ 不透水層設置工



- 河床を掘削し、不透水層（粘性土張り）を設置し、発生土を埋戻しします。

### ④ 低水路階段工

平面図

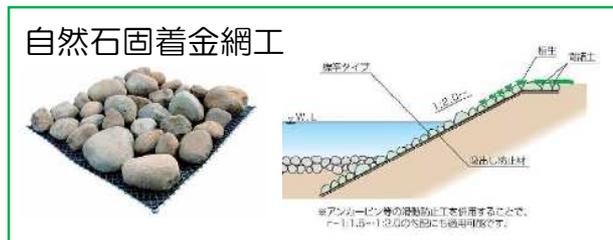
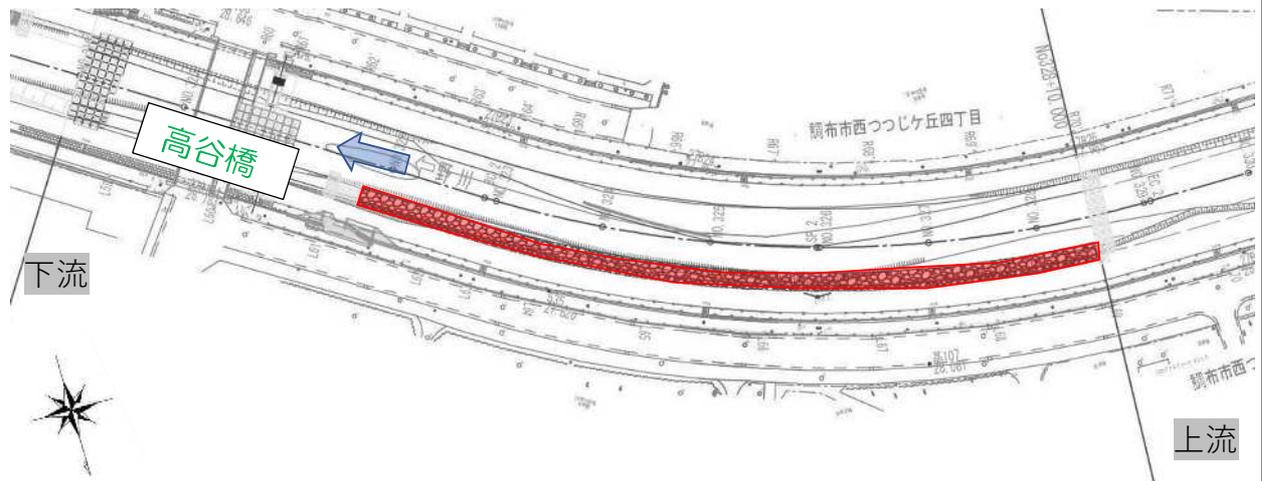


参考写真



- 高谷橋上流側の左岸側に、河川内へ昇降できる階段を設置します。

## ⑤ 低水路法面護岸工

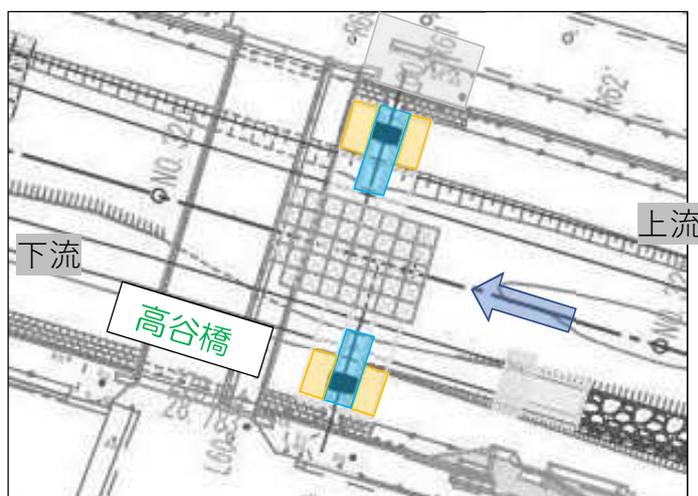


- 法面の侵食を防ぐため、自然石固着金網を設置し、保護します。

19

## ⑥ 排水施設設置工

平面図



参考写真



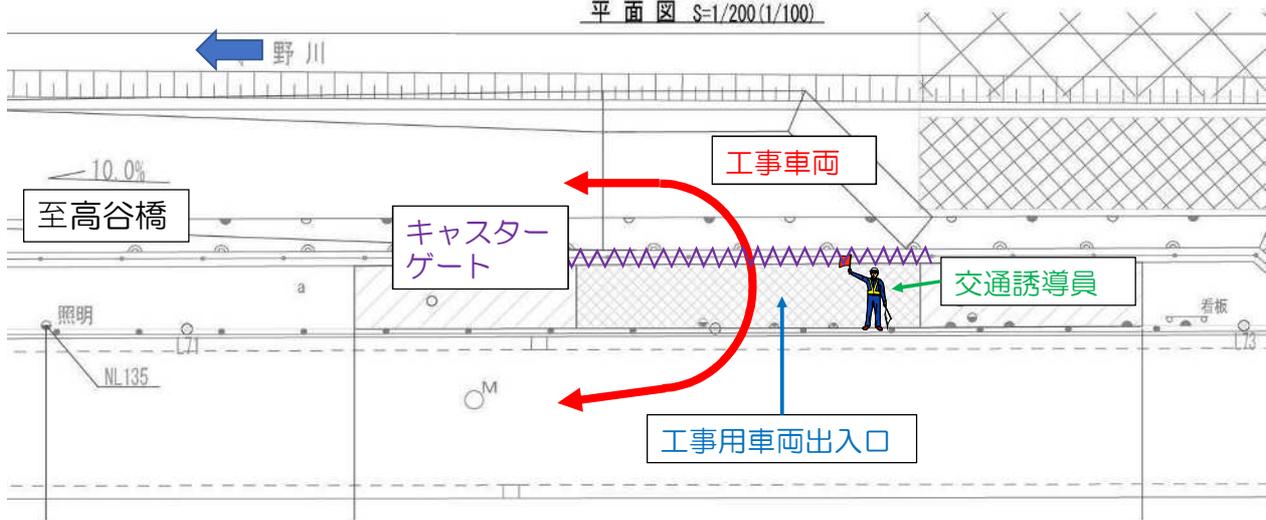
- 高谷橋上流側の右左岸側にある排水施設を取壊して復旧します。

20

## 3-2 安全対策

※イメージ図

平面図 S=1/200(1/100)

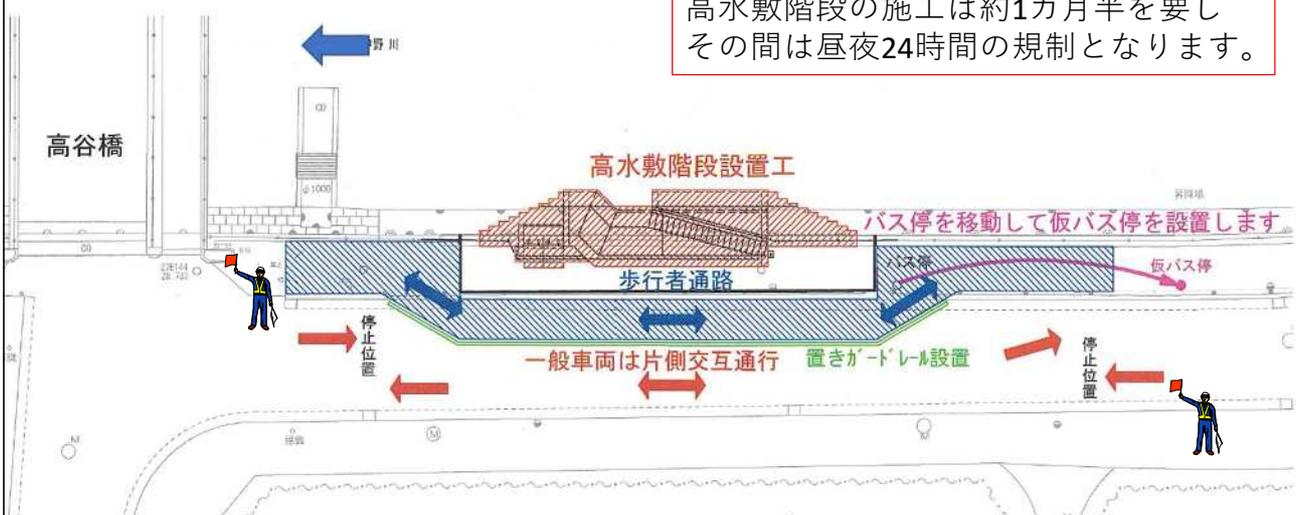


- 工事車両が通行する時は、第三者最優先で交通ルールを厳守し、交通事故の無い様に留意します。
- 交通誘導員は、必要に応じて増員します。
- 搬出入時間は、9：00～17：00予定
- 搬出台数は 延べ5台～20台/日
- 工事車両が通行しない土曜日、日曜日及び夜間は出入り口を閉鎖し歩車道ともに通常通り通行ができます。

21

## 高水敷階段施工時迂回図イメージ

高水敷階段の施工は約1カ月半を要し  
その間は昼夜24時間の規制となります。



- 歩行者は図の通り、歩行者通路を歩いていただきます。
- 一般車両は片側交互通行となります。
- 施工する際に「たかや橋」のバス停を上流側に移動し、仮バス停を設置します。
- 車両誘導のため、交通誘導員を2名配置します。

22

# 工事車両搬入経路図



- 工事車両搬入・搬出時間は9:00~17:00予定です。
- 交通誘導員の人数は、搬入車両の状況に応じた人数を配置します。

## 3-(3) 高水敷・階段の通行止め



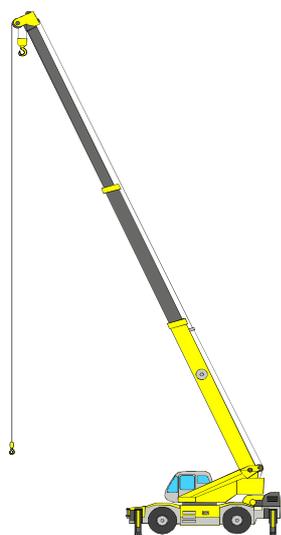
断面図



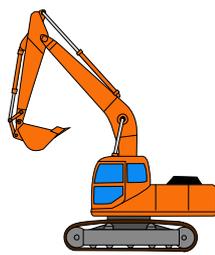
- 工事中は、小金橋より下流から野川大橋の間は通り抜けできません。
- また工事範囲内(▲)は、使用できなくなります。

## 3-4) 使用機械

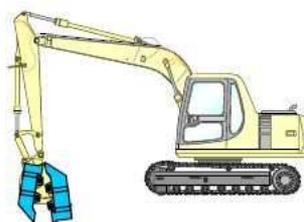
- クレーン (16t・25t) (1) 重機
- ・低騒音型、低振動型
  - ・排出ガス対策型
- (2) 車両
- ・ディーゼル車規制適合



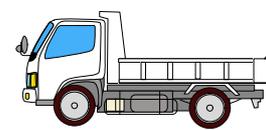
バックホウ



油圧式破砕機



ダンプ (2t・4t・10t)



- ・現場で使用する主な機械は、クレーン・バックホウ・油圧式破砕機・ダンプ等を使用し作業を行います。
- ・又、使用する機械は低騒音型・低振動型・排出ガス対策型、車両におきましてはディーゼル規制適合車を使用します。

## 3-5) 環境調査

### 工事中の調査

- ・生物捕獲調査 : 野川に生息する魚類・両生類・爬虫類を捕獲・分類作業・放流を行います。  
植物は希少種の移植を行います。
- ・騒音調査 : 騒音計による測定を行います。
- ・振動調査 : 振動計による測定を行います。
- ・地下水位調査 : 観測井戸を左右岸に設け測定を行います。

# 【お問い合わせ先】

## ●工事について

受注者：株式会社 瀧澤建設

現場代理人：高橋（たかはし）

電話番号：090-4011-0686

## ●事業について

発注者：東京都北多摩南部建設事務所

工事第二課

電話番号：042-330-1859